国立国語研究所平成14年度日本語教育上級研修

「ドリアンチーム」修了報告書

「教師と学習者の協働によるスピーチとディスカッションの授業」～活性化を目指した授業のプログラム化と教師のスキルの意識化～

吉本恵子・深澤道子・河北祐子

(カイ日本語スクール)

ドリアンチーム研究要旨

本研究はスピーチとディスカッションの授業で「教師と学習者の協働によって、日本語の違いを恐れず、安心して自己を語り本音を表現し、他者の意見から気づきを受け得る場としての授業を実現すること」を目標とした。安心できる環境と人間関係づくりのために構成的グループエンカウンター(SGE)からインストラクション・エクササイズ・シェアリングの3つの構成とカウンセリング理論から受容・支持・明確化・繰り返し・質問の5つのスキルを取り出し、本研究の目標達成のためにテーマとルールに工夫を加え、中級必修選択1クラスおよび上級選択ディスカッション2クラスで実践した。授業のビデオ録画、文字化資料作成、授業後アンケートによる学習者への調査を行い、それらを考察することによってディスカッション授業の活性化が起きたかどうかを明らかにしようとした。学習者との協働を引き起こすことを教師の役割と捉え、上記を実践した。その結果、レベル・教師・授業内容の違いに関わらず、ディスカッション授業が活性化したのではないかと考える。

キーワード: 協働、受容、教師の役割、構成的グループエンカウンター、活性化